

平成 16 年度事業報告

統合後 2 年目の平成 16 年度は、内部管理体制の充実強化に努めるとともに、統合によって磨きをかけてきた観光振興とコンベンション誘致のノウハウの集積を活かした実践的な活動を展開し、着実な成果をあげることができた。

観光振興事業については、誘致宣伝の活動として、海外ビジター 200 万人達成を目指して東アジアへ、パッケージ旅行・修学旅行誘致を目指して国内各都市へと国内外への積極的なプロモーション活動を実施したのをはじめ、協会ホームページの多言語化、マスメディアへの露出機会の増加に向けた活動等を行った。また、多様な観光魅力の開発・振興、インターネットや各種媒体による情報発信等の観光振興事業、ビジターズインフォメーションセンターでのきめ細かい観光情報の提供、土産品売店の運営、観光ボランティアの支援等の受入対策、大阪城天守閣の運営・活用等、観光客誘致のための幅広い活動に取り組んだ。さらに、本年度は上海市旅遊事業管理委員会と友好提携を締結したほか、業界と協力して大阪での宿泊客増を図るための「大阪ツーリズム促進協議会」を設立する等、今後の展開に向けた新しい第一歩も踏み出した。

コンベンション誘致事業については、国内外の会議を開催するに相応しい都市としての大阪の PR 強化に努めるとともに、会議主催者、ミーティング・プランナー、関係団体等に対する効果的なプロモーション活動、主要なコンベンショントレードショー・商談会への参加等を行った。また、会議主催者に対する助成金の交付、開催準備資金の貸付、コンベンションバッグ・観光案内地図の提供、歓迎行事への福娘の斡旋等、きめ細かい支援活動を行った。その結果、平成 16 年度に大阪開催が決定した会議は、国際会議 23 件、国内会議 89 件の計 112 件、誘致会議の総参加者数は 122,500 名に達した。この間、ロータリー国際大会では世界各国から 45,000 名、インセンティブツアーとして台湾の国泰人壽保険公司から 3,500 名を迎える等、大きな経済波及効果をもたらした。

各事業の実施状況は次のとおりである。

観光誘致宣伝事業

1 海外及び外国人へのPR活動

(1) 韓国

インセンティブツアーや修学旅行等のマーケットを拡大するために、J N T O (国際観光振興機構)主催のインセンティブ商談会への参加、韓国旅行会社主催の修学旅行説明会に参加した。また、観光プロモーターを釜山に置き、韓国全土へのセールス拠点を確保した。

ア ソウル

観光展への参加

- ・ 第17回韓国国際観光展(K O T F A 2004)
- ・ V J C 主催韓国アウトバウンド2004

旅行関係者への表敬・情報交換会

- ・ 大韓航空、アジアナ航空、大手旅行代理店への表敬訪問
- ・ 旅行エージェントへのセールス及び情報交換会

インセンティブセミナーへの参加

- ・ J N T O 主催インセンティブセミナーへの参加

イ 釜山

観光展への参加

- ・ 2004釜山国際観光展(B I T F 2004)

旅行関係者への表敬・情報交換会

- ・ 釜山市長表敬
- ・ 旅行エージェントへのセールス及び情報交換会

修学旅行説明会への参加

- ・ 学校関係者に対する大阪への修学旅行の説明会

観光プロモーターの設置

- ・ 釜山広域市観光協会に当協会職員を派遣

(2) 香港及び広州

香港では訪日観光客を対象に4月からビザが解禁となり、大阪へのアピールを図り、また、旅行の先進地域である広州でも新たに大阪をアピールした。

ア 香港

旅行関係者への表敬・情報交換会

- ・ 全日空香港支店訪問
- ・ J N T O 香港事務所訪問
- ・ 旅行エージェントへのセールス及び情報交換会

インセンティブセミナーの開催

U S J 主催セミナーへの参加及び現地旅行関係者との懇親会

イ 広州

旅行関係者への表敬・情報交換会

- ・ 日本航空広州支店との情報交換会
- ・ 旅行エージェントへのセールス
- ・ 中国南方航空、広東省・広州市旅遊局表敬
- ・ 在広州日本国領事館表敬

観光展への参加

- ・ 広州国際旅遊展鎖会（G I T F）

(3) 杭州及び上海

新たに浙江省・杭州においてもプロモーションを行った。浙江省は、9月からビザが解禁となり、今後多くの訪日旅行者を期待することができる。

ア 杭州

旅行関係者への表敬・情報交換会

- ・ 日本航空及び全日空杭州支店訪問
- ・ 旅行エージェントへのセールス
- ・ 杭州市旅遊事業管理委員会、浙江省旅遊事業管理委員会訪問

ワークショップ開催

- ・ 旅行エージェント及び関係者を対象としたワークショップ「大阪観光セミナー」を開催

イ 上海

大阪市長、当協会会長の航空会社及び上海人民政府表敬

上海市旅遊事業管理委員会と当協会との友好提携

平成16年12月9日に上海で調印式を行った。

旅行関係者との情報交換会

ワークショップ開催

- ・ 旅行エージェント及び関係者を対象としたワークショップ「大阪観光セミナー」を開催

USJ主催セミナーへの参加

観光展への参加

- ・ 上海世界旅遊資源博覧会（W T F 2005）

大阪紹介TV番組及びCMの制作、放映

(4) 台湾

新たに高雄においてもプロモーションを行った。台北では、観光プロモーターを置き、現地旅行エージェントに大阪の新しい観光施設やその他の情報を継続的に行うことにより大阪のPRを行う。

ア 高雄

旅行関係者との情報交換会

- ・ 旅行エージェントへのセールス

イ 台北

観光展への参加

- ・ 第12回台北国際旅行博（ITF2004）

旅行関係者への表敬・情報交換会

- ・ 中華航空、エヴァ航空、エアーニッポン、JAA訪問
- ・ 台湾教育部国際文教処一等秘書との面談
- ・ 旅行エージェントへのセールス

ワークショップ開催

- ・ 旅行エージェント及び関係者を対象としたワークショップ「大阪観光セミナー」を開催

観光プロモーターの設置

現地のエージェントに定期的にセールスを行い、大阪の施設情報やアジア（台湾）レートを提示し、ホテルの集客を図る。

（5）大阪市海外事務所との連携による観光情報交換会の開催

シカゴ、シンガポール、パリ事務所と連携し、現地メディア関係者及び旅行エージェントを対象とした観光展への参加、雑誌・新聞への記事掲載など、大阪の魅力をもPRするとともに、現地ビジターの大阪観光へのニーズやビジターの新規開拓に係るマーケティング手法についての情報交換を行った。

（6）各種マスコミと連携した広域キャンペーン

海外を対象とする大阪のPRを強化するため大きな相乗効果が期待できる各種マスコミと連携して、企画記事・番組等を共同で作成し、効果的に「国際集客都市大阪」の魅力を発信するプロモーションを展開した。

ア 訪日外国人の多い韓国、台湾、香港、中国に焦点をしばり、共同記事・番組制作を行った。

イ 各種マスコミにおける大阪を対象とした企画制作の促進及び内容の充実を図るため、各種マスコミ関係者を対象とした現地視察を行い、情報提供を始めとする取材協力を行った。（カナダ、アメリカ、香港、韓国、シンガポール、台湾）

（7）ビジット・ジャパン・キャンペーンと連携した広域キャンペーン

海外ビジターが観光旅行で日本を訪問する際、複数都市を訪問しており、また、旅行商品に対するニーズも多様化していることから、より広域的な連携を図り、プロモーションを行うことが求められている。そこで、世界遺産や雪、温泉といったテーマと組み合わせたモデルルートを作り、旅行関係者を招聘し、PRを図

った。

ア USJと関西の観光資源を組み合わせたTV番組の制作

イ 北京修学旅行誘致事業

ウ 愛知・大阪ツアー商品造成事業

エ 第1回OSAKAエンタテインメントフェスティバル

(8) アジア太平洋観光交流センターへの支援

世界観光機関(WTO)アジア太平洋事務所の活動に資するため、(財)アジア太平洋観光交流センター(APTEC)を通じて、支援を行った。

(9) 府域周遊バス事業

海外ビジターが気軽に大阪を周遊できるように、産業観光や体験観光の新たな観光ルートを展開することで、大阪の活性化を図った。

(10) 修学旅行生の受け入れ

平成17年度以降の韓国からの修学旅行生の受け入れを充実させるため、韓国にある中学校、高等学校の校長らをモデルケースとして招待した。

2 国内でのPR活動

(1) 大阪観光・修学旅行プロモーションの実施

旅行エージェントを招待し、大阪の四季のイベント資料を始め、大阪修学旅行キットを配布し、大阪への旅行商品造成を働きかけるとともに、大阪での宿泊をPRした。また、大阪側の参加施設によるワークショップデスクを設置し、施設概要を始めとして、大阪の最新情報を発信した。

(2) 他都市主要旅行エージェント個別訪問による大阪観光・修学旅行セールスの実施

旅行エージェントを招待し、大阪の四季のイベント資料を始め、大阪修学旅行キットを配布し、大阪への旅行商品造成を働きかけるとともに、大阪での宿泊をPRした。

(3) 首都圏プロモーターの設置

首都圏における大阪のPRを図るため、大阪の観光に造詣の深い人物を選んだ。

(4) 首都圏観光プロモーション

近畿6府県首都圏観光連絡協議会と首都圏旅行関連記者クラブとの観光関連情報交換会において、大阪の観光情報を提供した。

(5) 旅の総合見本市「旅フェア2004」への出展

国内旅行の一層の促進を図るため、全国の自治体と旅行関連業界が連携して実施する「旅フェア2004」に出展した。

(6) 大阪観光キャンペーン

大阪観光のPRと府内外からの集客促進のため、市町村、民間観光関連事業者

等と連携し、大阪と東京でのキャンペーンのほか、JRとのタイアップにより、京都、神戸、岡山、広島、福岡において観光PRを実施し、集客増を図った。

(7) 「愛・地球博」と連携した大阪観光キャンペーン

府内の観光・宿泊施設等の協力を得て、博覧会の入場券提示による得点提供やスタンプラリーを実施するとともに、協賛施設を紹介した多言語ガイドブックを製作し、博覧会会場などで配布し、広域観光交流促進を図り、大阪への誘客促進を図った。

(8) GOOD (岐阜県・大阪府・岡山県 District) 連合事業への参画

岐阜、大阪、岡山の広域連携による観光をPRした。

3 PRツールの作成

国内外からの観光誘客、大阪観光PRの支援を目的に、大阪の歴史、文化、観光スポットなどの観光魅力を紹介したパンフレットやポスターを始め、CD-ROM等のPRツールを作成した。

(1) 観光ガイドブック(日、英、韓、中・繁、中・簡、仏)

(2) 観光地図(日、英、韓、中・繁、中・簡)

(3) 街遊本(日、英、韓、中・繁、中・簡)

(4) 観光イベント情報(日、英)

(5) 観光ポスター(市域5点、府域2点)

(6) エージェントマスコミ用CD-ROM(日、英、韓、中・繁、中・簡)

(7) エージェントマスコミ用ガイドブック

観光受入対策事業

1 海外ビジター客等の受け入れ対策

(1) ホームビジット事業

外国人旅行者に日本への理解を深めてもらうため、受入家庭の協力を得てホームビジット事業を運営し、国際交流に努めた。

(2) 観光ボランティアガイド支援事業

観光ボランティアの組織強化及び活動内容の一層の拡充に向け、ボランティア活動の自主展開を支援するとともに、育成講座を開講し新規ガイドの登録を行った。

(3) 善意通訳制度の推進

国際観光の推進を図るため、善意通訳の登録受付制度を取り扱うとともに、登録者への各種観光情報の提供や講習会を実施した。

(4) 大阪市ビジターズインフォメーションセンター、ツーリストロビー及び天守閣と南港観光案内所の運営(計8箇所)

内外の利用者に対して、観光情報の提供を行った。訪問ビジター数は、約65万人で、うち外国人は約12万人であった。

(5) 国際ロータリー2004年国際大会での観光案内の実施

5月に実施された国際ロータリー2004年国際大会参加者が大阪で快適に過ごしていただけるよう、会場内にインフォメーションブースを設置し、観光、ショッピング、ダイニング、交通の案内を実施した。

(6) 社会実験事業(国土交通省採択事業)による報告書

東アジア各国に対するビザ解禁措置により旅行者が増加するので、大阪側の受入態勢として、言語の壁をなくし、ホスピタリティあふれる大阪の実現を目指す目的から、「全国都市再生モデル調査;外国人が快適に観光できるまち・大阪」を大阪府、大阪市、近畿運輸局、大学、関西空港、民間企業と合同で実施、報告書を作成した。

2 記念品販売事業

大阪城天守閣売店、新大阪iショップ、南港フェリーターミナル売店を運営するとともに、新しい大阪土産を企画し、販売するとともに、次のイベントで特設売店を設置し、販売した。

(1) 国際車椅子テニストーナメントでの観光案内・大阪土産コーナーの設置

(2) 光のルネッサンス2004での大阪土産コーナー

観光振興事業

1 観光情報センターの運営

インターネットにより、広く国内外に情報発信するとともに、集客を目的とした観光情報システムの運用(観光情報の基礎コンテンツのリニューアルと新規コンテンツの開発)を行った。

(1) 基礎コンテンツ

観光情報の基本コンテンツのリニューアルと多言語化(日、英、韓、中・繁、中・簡)を実施した。

(2) 新規コンテンツの開発

大阪の食をテーマにフラッシュ(動画とアニメーション)を使い、簡単なマウス操作で子供から大人まで楽しめるインタラクティブ(双方向性)なコンテンツ「よろしゅおあがり」(日、英、韓、中・繁、中・簡)の作成を行った。

(3) 携帯サイト「大阪シティナビ」のコンテンツの充実

利用促進を図るため、簡略化した道路マップや写真を挿入し、充実を図った。

(4) 羽衣国際大学インターン生の受け入れ

羽衣国際大学からインターン生1名を受け入れ、韓国人旅行者向けコンテンツの企画を行った。企画はアンケート調査等により行い、NTTとの共同作業で情

報発信に向けての調査も行った。

2 観光魅力開発事業

行政の企画する地域魅力開発事業に参画するとともに、協会独自事業としてマーケットニーズに対応する新商品の開発に取り組んだ。

(1) 「VISIT OSAKA キャンペーン」への参画

キャンペーンの一環として、「OSAKA エンタテインメントフェスティバル」を11月13(土)、14(日)の両日に実施し、宿泊ビジターの増加を図った。

(2) 四季のイベント月間創出事業への参画

春巡り、オーサカキング、秋散歩、光のルネッサンス等のイベントとの連携を促進し、新たな集客イベントの創出との相乗効果で年間を通じた集客力の強化と宿泊ビジターの増加を図った。

(3) 「水都大阪」の宣伝活動の実施

「水の都大阪」、「水都ルネッサンス」、「花と緑・光と水のまちづくり」等河川を利用した新しい水上観光ルートや散策スポットのPRを実施することにより、「水の都大阪」の魅力を全国にアピールした。

(4) 「エリア集客魅力開発モデル事業」のアフターケア

当該事業により開発された「集客エリア」について、継続的なアフターケアを行った。

～「生野コリアタウン」「日本橋でんでんタウン」「住吉粉浜商店街」「長吉中央商店街」～

(5) 参加体験型メニューの商品開発、改善事業

新たな参加体験型メニュー商品の開発、既存の商品改善を実施し、ガイドブック「参加体験プログラム」を改訂し、「大阪参加体験プログラム2005」を作成し、修学旅行の増加を図った。

(6) 広域観光ルート商品開発事業

インバウンドをターゲットとした関西圏及び広域圏と連携したツアー商品の開発を行った。

～韓国人向けゴルフ・温泉ツアー、韓国人及び中国人向けゆかりツアー～

3 天神祭等伝統的催事の振興

大阪の夏を彩る貴重な観光資源である天神祭の魅力を発信し、内外ビジターの誘致につなげていくため、陸渡御、船渡御観覧席を設置したほか、各種伝統行事の振興を図り、大阪の魅力を発信した。

4 全国広域観光振興事業

全国規模の事業を通じて地域観光の活性化を促進するため、(社)日本観光協

会の実施する全国広域観光振興事業に対し分担金を拠出し、各種の事業を実施した。

(1) 関西ブロック広域観光振興事業の実施

ア 「ウェルカム関西イベントガイド」の作成

旅行商品企画向けに、関西 2 府 5 県のイベントガイドを作成し JNTO アメリカ事務所、日本観光協会台湾事務所等でエージェント向けに配布した。

イ 「冬の旅・早春の旅 in YOKOHAMA」観光展の実施

ウ 「ほんまにええとこ関西」観光展の実施

5 府内市町村等の観光振興支援

(1) 観光振興指導者育成事業

市町村、観光団体、NPO などに「でかける観光塾」講師として、アドバイザーを派遣し、観光へのニーズの変化にあわせ、魅力ある観光資源の掘り起こしや、地域振興の視点も加味した観光地づくりへの取り組みを支援した。

(2) 広域観光振興事業に関する協力

府域の市町村等が連携し、広域的に観光振興を図る事業に対して協力した。

(3) 観光普及啓発事業に対する後援・協賛

市町村や観光関係団体等が実施する観光普及啓発事業に対して、後援・協賛した。

コンベンション事業

1 コンベンション誘致事業

(1) 平成 16 年度に大阪開催が決定した会議は、国際会議 23 件、国内会議 89 件の計 112 件、誘致会議の総参加者数は 122,500 名である。当協会は会議主催者と密接に連携をとりながら、大阪開催に向けて提案書やプレゼンテーション資料の作成、大阪の P R 活動など多方面にわたる協力を行った。

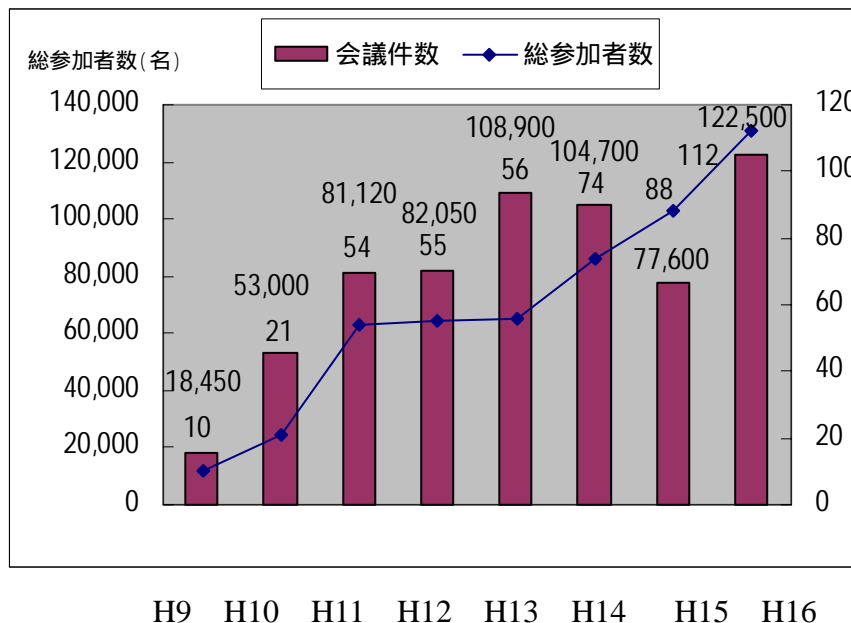
国際会議では、総参加者数 1,000 名を超える大規模なものとして「国際産科婦人科内視鏡会議」(平成 20 年 9 月開催)を始め、「世界考古学会議中間会議」(平成 18 年 1 月開催)「第 7 回機能性 電子国際会議」(平成 18 年 5 月開催)「Open Mobile Alliance 総会」(平成 18 年 6 月開催)等、計 16 件の参加者 300 名以上の中・大型国際会議の大阪開催が決まった。

また国内会議では、「第 102 回日本内科学会総会・年次講演会」(平成 17 年 4 月開催)「日本建築学会大会」(平成 17 年 9 月開催)、「第 81 回日本医科器械学会大会」(平成 18 年 5 月開催)「日本東洋医学会学術総会」(平成 18 年 6 月開催)「日本医学会総会」(平成 19 年 4 月開催)に向けた関連学術会議、日本機械学会年次大会(平成 19 年 9 月開催)など、医学系、理工学系会議等の大阪開催が決まった。

ア 誘致案件（平成9年度実績～平成16年度実績）

	H9年度	H10年度	H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度
誘致会議数(件)	10	21	54	55	56	74	88	112
国際会議	7	7	15	15	10	23	14	23
1,000名以上	5	3	7	7	1	4	2	1
300～999名	2	4	4	6	9	12	2	16
国内会議	3	14	39	40	46	54	74	89
1,000名以上	2	7	23	25	25	23	28	32
総参加者数(名)	18,450	53,000	81,120	82,050	108,900	104,700	77,600	122,500

イ 誘致案件数及び総参加者数の推移



(2)国内外の主要なコンベンション見本市(IT&CMA、IME等)及び商談会に参加し、会議主催者、ミーティング・プランナー、関係団体等に積極的なプロモーション活動を行った。

ア IT&CMA2004(インセンティブ・トラベル & コンベンションズ・ミーティング・アジア)

会期 平成16年10月12日～14日

会場 IMPACT コンベンション・センター(タイ・バンコク)

内容 インセンティブ旅行とコンベンション市場におけるアジア最大級の見本市であるIT&CMAに初めて参加した。世界28か国から、265の機関及び団体が出展。日本からは国際観光振興機構(JNTO)を始め、当協会を含む6団体のビューローが参加した。当協会は、大阪府シンガポール事務所の協力を得て、2日半にわたる個別商談会で、合計26

社に対し実質的な誘致セールスを行った。

イ Japan Incentive Showcase 2004 (インセンティブツアー・キーパーソン招請事業)

日時 平成 16 年 12 月 7 日～8 日

会場 高輪プリンスホテル(東京)

内容 韓国、中国、香港、台湾、タイのインセンティブ旅行を実施する企業の担当者及びインセンティブ旅行を取り扱う代理店関係者計 49 名を対象に、大阪のホテル、テーマパーティー会場、観光アトラクション等のプレゼンテーションを行った。商談会後の 12 月 8 日～11 日には、香港から 3 社、中国・広東省から 6 社のインセンティブツアー関係者計 9 社が大阪を視察訪問し、大阪の観光魅力をアピールした。

ウ AIME 2005 (第 13 回アジア太平洋インセンティブ・ミーティング・エキスポ)

会期 平成 17 年 2 月 22 日～23 日

会場 メルボルン・エキジビション・センター(オーストラリア・メルボルン)

内容 南半球最大規模で開催される AIME には、825 企業・団体が出展し、445 名のバイヤーが参加した。当協会は、大阪府シドニー事務所の協力を得て、2 日間で合計 34 社との実質的な商談を行った。

エ MEET JAPAN 2005 (国際会議海外キーパーソン招請事業)

会期 平成 17 年 3 月 5 日～8 日

商談会場 新高輪プリンスホテル(東京)

内容 国際観光振興機構(JNTO)の招請により、欧米諸国から来日した国際団体のキーパーソン 18 名との面談を通して、大阪の会議・ホテル施設等をアピールするなどの商談を行った。また、商談会に先立って、大阪を訪れたキーパーソン 5 名(米国 3 名、チェコ・デンマーク各 1 名)に対し、主な会議施設、ホテル、観光スポットの視察案内等を行い積極的な誘致活動に努めた。

(3) 首都圏の会議主催者に対し会議都市大阪の魅力を P R するために、東京で「ミートイン大阪 2004 年」を開催した。また、台湾での「大阪観光・インセンティブセミナー」において、現地旅行エージェントやマスコミに対しインセンティブツアーの大阪開催の利便性を P R した。

2 コンベンション支援事業

(1) 国際コンベンション開催助成金制度

次の 6 件に、総額 540 万 5 千円を交付した。

ア 第 104 回日本外科学会定期学術集会

- イ 2004 年国際溶射会議・展示会
- ウ 第 57 回国際溶接学会年次大会
- エ 第 6 回高自然放射線とラドン国際会議
- オ 第 27 回日本神経科学大会・第 47 回日本神経化学会大会合同大会 Neuro2004
- カ 第 5 回アジア太平洋手の外科学会
- (2) コンベンション開催準備資金貸付金制度
 - 次の 4 件に、総額 1000 万円を貸し付けた。
 - ア 国際研究集会「ニュートリノ・ファクトリーとニュートリノ・スーパービーム」
 - イ 第 14 回アジア心臓血管外科学会
 - ウ 国際学会「化学反応の立体ダイナミクス 2004」
 - エ 第 19 回日本冠疾患学会
- (3) 観光案内地図及びコンベンションバックの提供
 - 〔地 図〕114 件 72,058 部
 - 〔バック〕101 件 50,295 部
- (4) フォト C D (大阪風景・施設スライド集) の貸出
 - フォト C D 20 件をポスター素材用等に貸出した。
- (5) 今宮戎神社福娘による国際会議レセプション歓迎事業
 - 次の 7 件の国際会議・インセンティブツアーに、福娘を派遣した。
 - ア 国泰人寿保険公司 (平成 16 年 4 月 14 日)
 - イ 2004 年国際溶射会議・展示会 (平成 16 年 5 月 11 日)
 - ウ グレート・イースタン保険会社 (平成 16 年 6 月 7 日)
 - エ 第 57 回国際溶接学会年次大会 (平成 16 年 7 月 11 日)
 - オ 第 6 回高自然放射線とラドン国際会議組織委員会 (平成 16 年 9 月 9 日)
 - カ 第 3 回エンジニアリングセラミックス国際会議 (平成 16 年 11 月 2 日)
 - キ 化学反応の立体ダイナミクス 2004 (平成 16 年 12 月 1 日)

3 コンベンション広報宣伝事業

コンベンションの誘致活動とあわせて大阪施設ガイドブック、観光マップ、観光ガイド等を配布し大阪の会議施設、宿泊施設、観光施設を積極的に P R した。

- (1) 国内外のコンベンション見本市に出展
 - IT&CMA (バンコク) AIME (メルボルン) IME2004 (東京)
- (2) 機関紙「大阪コンベンションニュース」
 - 年 4 回 (季刊) 6000 部発行。在阪のホテル・会議施設の外、コンベンション主催者である大学、団体・協会など関係先を中心に配布した。
- (3) 大阪で開催される会議、見本市等の予定を記載した「コンベンション・アンド・

エキシビジョン・カレンダー」を年2回・各600部発行し、会員及び関係者へ配布した。

(4) ホームページ

国内外に向け、ホームページ〔<http://www.octb.jp>〕を利用して、大阪コンベンション施設、ホテル、観光の魅力、支援サービスなどの情報も発信するとともに、学会ホームページとの相互リンクを図っている。

4 コンベンション誘致企画調査事業

(1) 誘致・PR活動を効果的に実施するために、国内外の会議情報提供機関(ICCA、JCCB、国際観光振興機構、自治体海外事務所、学会事務局関西(近畿)支部、学会事務局本部、専門雑誌等)の中・大会議情報を体系的に収集・分析し、会議・セミナー等へ参加し、情報収集に努めた。

(2) 大阪におけるコンベンション事情を把握するため、各施設、会議主催者の協力を得て調査を行い、国際観光振興機構へ会議情報を提供した。

平成15年1月から12月に開催された国際会議の都市別集計は、開催件数で見ると、大阪市148件、千里地区が62件であり、中・大型国際会議については29件、全国3位であった。外国人参加者数で見ると大阪市13,403人(全国3位)、千里地区1,711人(同13位)であった。

(3) コンベンション開催が地域経済にもたらす波及効果について、国際溶接学会及びアジア太平洋手の外科学会を対象に調査を行った。

(4) JNTO、JCCB等関係団体との連携を図り、当該団体の総会・各種会議に適宜参加するとともに、コンベンション事情の把握と情報交換を行った。

(5) 大阪国際会議場への誘致・開催等の支援

大阪への大規模コンベンションの誘致を積極的に推進するため、大阪国際会議場のコンベンション誘致機能の強化等に対する支援を行った。

(参考資料)

平成16年度に支援又は開催が決定した会議

国際会議

No.	会議名	開催年	月日	主催団体(大学等)	参加人員	予定会場
1	encera 04	2004	10月	大阪大学	300	千里阪急ホテル
2	第10回「化学反応の立体ダイナミクス」国際学会	2004	11月	大阪大学理学部	200	ホテル阪急エキスポパーク
3	マシンオートメーションに関する国際会議	2004	11月	大阪大学 基礎工学部	200	大阪大学コンベンションセンター
4	第18回東アジア医学生会議	2004	12月	東アジア医学生会議運営委員会	150	羽衣青少年センター
5	国際ヘルベス会議	2005	10月	大阪大学医学部	120	コスモスクエア国際交流センター
6	第6回高温ガス精製国際会議	2005	10月	東京農工大	200	コスモスクエア国際交流センター
7	第9回IEEE-ISWC	2005	10月	IEEE本部	300	大阪産業創造館
8	市大PRJT 高齢化社会への挑戦(仮題)	2005	11月	大阪市立大学	300	大阪市立大学キャンパス
9	第4回アジア電動車両学会総会	2005	11月	アジア電動車両学会	300	インテックス大阪、大阪市立大学
10	国際心臓研究会第22回大会	2005	12月	大阪大学病態情報内科学	350	大阪国際会議場
11	発達と学習に関する国際会議(ICDL)	2005	7月	ICDL05開催実行委員会	400	インテックス大阪
12	第2回日韓合同陸水シンポジウム	2005	9月	日韓合同陸水シンポジウム実行委員会	400	大阪国際交流センターほか
13	世界考古学会議中間会議	2006	1月	世界考古学会議実行委員会	350	大阪歴史博物館
14	第7回機能性電子国際会議	2006	5月	近畿化学協会	500	大阪国際会議場
15	Open Mobile Alliance総会	2006	6月	Open Mobile Alliance	500	ホテルニューオータニ大阪
16	国際神経超音波学会	2006	7月	中国労災病院	500	ホテル阪急エキスポパーク
17	第12回国際潰瘍学会	2006	7月	大阪市立大学大学院	500	ホテルニューオータニ大阪
18	IATP(Int'l Airlines Technical Pool)総会	2006	9月	IATP	300	全日空ゲートタワーホテル
19	USPC-5	2006	11月	関西大学工学部	200	関西大学
20	第14回大阪市立大学国際学術シンポジウム 企画「ヨーロッパに学ぶアジア統合の推進— 東アジア共同体への道」	2006	11月	大阪市立大学	450	大阪国際会議場
21	国際産科婦人科内視鏡会議	2007	3月	近畿大学医学部 産科婦人科	1200	大阪国際会議場
22	精神科学遺伝国際学会	2008	10月	大阪医科大学	700	大阪国際会議場
23	第7回国際法医学シンポジウム	2008	9月	日本法医学会	500	大阪市中央公会堂(予定)
					小計	8,920

国際会議23件 1000名以上1件 300-999名16件

国内会議

No.	会議名	開催年	月日	主催団体(大学等)	参加人員	予定会場
1	日本希土類学会(討論会)	2004	5月	大阪大学	280	大阪大学コンベンションセンター
2	日本液体微粒化学会セミナー	2004	6月	大阪大学	50	大阪大学コンベンションセンター
3	日本教育メディア学会(日・米・韓・マレーシア)	2004	8月	関西大学	100	関西大学高槻キャンパス
4	日本物理教育学会	2004	8月	大阪学院大学流通科学部	200	大阪学院大学キャンパス
5	全日本民医連小児医療研究会	2004	9月	東大阪生協こども診療所	200	大阪コロナホテル
6	日本組織適合性学会大会	2004	9月	日本組織適合性学会	300	千里ライフサイエンスセンター
7	日本乳腺甲状腺超音波診断会議	2004	9月	日本乳腺甲状腺超音波診断会議	600	ホテル阪急エキスポパーク
8	日本心理学会	2004	9月	関西大学社会学部	3,000	関西大学キャンパス
9	日本教育メディア学会	2004	10月	関西大学	200	関西大学高槻キャンパス
10	全日本民医連神経リハビリテーション研究会	2004	10月	東大阪生協病院	200	大阪国際会議場
11	日本麻酔科学会市民公開講座	2004	10月	日本麻酔科学会	1,000	OBPツイン21
12	産業衛生学会 産業医・産業看護全国協議会	2004	10月	丸紅大阪健康管理センター	1,000	大阪国際交流センター
13	第19回生体・生理工学シンポジウム	2004	11月	大阪電気通信大学	250	大阪電気通信大学四条畷キャンパス
14	日本機械学会・生産加工・工作機械部門講演会	2004	11月	日本機械学会	250	大阪大学コンベンションセンター
15	酸化反応シンポジウム	2004	11月	関西大学工学部	300	関大100年会館
16	薬物活性シンポジウム	2004	11月	大阪大学薬学部	400	千里ライフサイエンスセンター
17	日本油化学会	2004	11月	大阪大学工学部	500	大阪大学コンベンションセンター
18	IVF研究会	2004	11月	いしかわクリニック	500	大阪国際会議場
19	近畿弁護士連合会大会	2004	11月	近畿弁護士連合会	500	新阪急ホテル
20	日本電信電話ユーザー協会電話応対コンクール	2004	11月	日本電信電話ユーザー協会大阪支部	600	大阪国際会議場
21	日本乳がん健診学会	2004	11月	古妻クリニック	1,000	大阪国際会議場
22	動物臨床医学学会	2004	11月	動物臨床医学研究所	2,000	大阪国際会議場
23	第56回 全国人権・同和教育研究大会	2004	11月	大阪府・人権教育研究協議会	20,000	大阪市中央体育館
24	音響学会 超音波部会	2005	1月	関西大学	100	関西大学キャンパス
25	第5回日本感染看護学会学術集会	2005	1月	日本感染看護学会	200	ナーシングアート大阪
26	日本総合健診医学会第33回大会	2005	1月	日本総合健診医学会	2,000	大阪国際交流センター
27	IVR関西地方会	2005	2月	大阪大学医学部放射線	200	コミュニティープラザ中ノ島

28	日本超音波医学会認定試験	2005	2月	日本超音波医学会	800	大阪国際会議場
29	日本再生医療学会	2005	2月	大阪大学医学部	2,000	大阪国際会議場
30	生涯教育講演会 Aセッション	2005	2月	日本内科学会	2,000	大阪国際会議場
31	EEネット 産業クラスター計画	2005	3月	EEネット	800	大阪国際会議場
32	生涯教育講演会 Bセッション	2005	3月	日本内科学会	2,000	大阪国際会議場
33	電子情報通信学会(春季大会)	2005	3月	電子情報学会	4,000	大阪大学豊中キャンパス
34	日本栄養アセスメント研究会	2005	5月	大阪大学医学部保健学科	200	千里ライフサイエンスセンター
35	第13回日本地方財政学会	2005	5月	大阪経済大学	300	大阪経済大学
36	日本防菌防黴学会年次大会	2005	5月	日本防菌防黴学会	300	千里ライフサイエンスセンター
37	日本体外循環技術研究会	2005	5月	日本体外循環技術研究会	500	クレオ大阪中央
38	美術史学会	2005	5月	大阪大学	900	大阪大学コンベンションセンター、豊中
39	全国特定郵便局長通常総会(全特)大阪総会	2005	5月	全国特定郵便局長会	8,000	大阪城ホール
40	日本希土類学会(討論会)	2005	5月	日本希土類学会	300	千里阪急ホテル
41	人類動態学会	2005	6月	大阪大学	200	大阪大学中之島センター
42	化学反応討論会	2005	6月	大阪大学理学部	200	ホテル阪急エキスポパーク
43	日本肥満傷害研究会	2005	6月	大阪大学医学部保健学科	200	大阪大学 中ノ島センター
44	日本環境化学会討論会	2005	6月	摂南大学薬学部	1,000	大阪国際交流センター
45	第23回日本臨床歯周病学会年次大会	2005	6月	日本臨床歯周病学会	1,500	大阪国際会議場
46	第27回日本癌局所療法研究会	2005	7月	日本癌局所療法研究会	300	大阪国際会議場
47	第17回日本頭蓋底外科学会	2005	7月	近畿大学医学部形成外科	300	千里ライフサイエンスセンター
48	日本肝臓学会市民公開シンポジウム	2005	7月	日本肝臓学会	400	大阪国際交流センター
49	日本心臓リハビリテーション学会	2005	7月	関西医科大学第二内科	600	大阪国際会議場
50	認定内科医資格認定試験	2005	7月	日本内科学会	800	大阪国際会議場
51	日本生物学的精神医学会	2005	7月	大阪大学医学部	1,000	大阪国際交流センター
52	日本組織移植学会	2005	8月	近畿大学	300	スイスホテル南海
53	日本エネルギー学会	2005	8月	日本エネルギー学会	400	関西大学
54	電気学会 B部会	2005	8月	大阪大学	1,000	大阪大学豊中キャンパス
55	日本スポーツ精神医学会	2005	9月	日本スポーツ精神医学会	200	大阪大学コンベンションセンター
56	第30回日本医用マスキング学会年会	2005	9月	日本医用マスキング学会	250	千里ライフサイエンスセンター
57	日本臨床分子形態学会	2005	9月	関西医科大学	300	大阪国際交流センター
58	色材協会研究会	2005	9月	色材協会関西支部	300	エル大阪
59	日本痴呆学会	2005	9月	大阪市立大学医学部	500	大阪ワールドトレードセンター
60	日本宗教学会	2005	9月	関西大学	650	関西大学
61	日本皮膚科学会中部支部総会	2005	9月	奈良医科大学皮膚科	1,000	大阪国際会議場
62	日本セラミックス協会秋季シンポジウム	2005	9月	日本セラミックス協会	1,000	大阪府立大学
63	日本建築学会大会	2005	9月	日本建築学会	9,000	近畿大学
64	痴呆ケア学会認定2次試験(2005)	2005	9月	痴呆ケア学会	1,000	天満研修センター
65	第70回日本陸水学会	2005	9月	日本陸水学会	400	大阪教育大学
66	日本金融学会	2005	10月	大阪大学	300	大阪大学コンベンションセンター
67	日本歯科審美学会	2005	10月	日本歯科審美学会	500	大阪国際会議場
68	複素環化学討論会	2005	10月	大阪大学工学部	500	大阪大学コンベンションセンター
69	日本リハビリテーション病院・施設協会	2005	10月	大阪府身体障害者福祉センター	1,600	大阪国際会議場
70	第2回 行動経済学ワークショップ	2005	11月	大阪大学	100	大阪大学 中ノ島センター
71	日本伸銅協会講演会	2005	11月	大阪大学 留学生センター	200	大阪大学コンベンションセンター
72	AEP日本歯内歯周管理学会発足25周年記念大会	2005	11月	AEP日本歯内歯周管理学会	250	マイドームおおさか
73	痴呆ケア教育講座 (2005)	2005	12月	痴呆ケア学会	1,000	アジア太平洋トレードセンター
74	日本臨床腫瘍学会総会	2006	3月	日本臨床腫瘍学会	2,000	大阪国際会議場
75	第106回中部日本整形外科災害外科学会	2006	4月	中部日本整形外科災害外科学会	800	大阪国際会議場
76	第81回日本医科器械学会大会	2006	5月	日本医科器械学会	9,500	大阪国際会議場
77	日本頭頸部腫瘍学会	2006	6月	日本頭頸部腫瘍学会	1,500	大阪国際会議場
78	日本輸血学会	2006	6月	大阪大学附属病院輸血部	1,500	大阪国際会議場
79	日本東洋医学会学術総会	2006	6月	日本東洋医学会	3,000	大阪国際会議場
80	日本脳神経超音波学会	2006	7月	国立循環器病センター	500	ホテル阪急エキスポパーク
81	全国高等学校家庭科講習会全国大会	2006	7月	全国高等学校家庭科講習会事務局	1,200	吹田メイシアター
82	下水道展・下水道研究発表会	2006	7月	下水道協会	1,500	大阪国際会議場
83	痴呆ケア教育講座 (2006)	2006	8月	痴呆ケア学会	1,000	大阪国際会議場
84	痴呆ケア学会認定2次試験(2006)	2006	9月	痴呆ケア学会	1,000	天満研修センター
85	第10回日本ワクチン学会	2006	10月	日本ワクチン学会	500	全日空ゲートタワー
86	日本応用糖質学会	2006	10月予定	大阪府立大学	300	大阪府立大学
87	第15回ポリマー材料フォーラム	2006	11月	(社)高分子学会	800	千里ライフサイエンスセンター
88	第108回日本医史学会	2007	4月	日本医史学会	200	大阪市立大学
89	日本機械学会年次大会	2007	9月	関西大学工学部	3,000	関西大学キャンパス
国内会議89件 1000名以上32件					小計	113,580

大阪城天守閣事業

大阪市から委託された大阪城天守閣の管理運営を行うとともに、特別展、テーマ展や各種イベントを開催し、天守閣の誘致に努めた。

1 大阪城天守閣の管理運営

(1) 開館日 年末(12/28~31)年始(1/1)を除く毎日

(2) 開館時間延長

ア 春季 3月29日~4月7日 午後7時まで

イ G W 4月24日~5月5日 午後6時まで

ウ 夏季 7月20日~8月31日 午後8時まで

エ 特別展 10月4日~11月9日の土・日・祝 午後6時まで

オ ロータリークラブ世界大会及び大阪総おどり開催に伴う時間延長
5月22日~5月25日 午後7時まで

(3) 観覧料 一般(高校生以上)1人 600円

(中学生以下、65歳以上市内在住者及び障害者は無料)

(4) 共通入場券の発売 大阪城西の丸庭園・天守閣共通入場券

ア 販売期間 観桜ナイター 3月30日~4月5日

イ 櫓の公開 10月30日~11月7日

2 誘致宣伝活動

(1) ポスターやパンフレット等のPRツールの作成

地下鉄各駅、ホテル、観光案内所、その他公共的施設などへパンフレットを配布するとともに、新聞広告などを行った。

(2) 誘致活動

ア 大阪観光プロモーションへの参加によるPR活動

3月10日 中国・広東省

イ 観光券(クーポン)契約による団体客誘致

観光券契約を結んでいるエージェント42社を対象に、団体客の誘致に努めた。

ウ 広報活動

天守閣イベント情報を積極的に提供することにより、大阪市広報テレビ、ラジオ番組はもとより、JR、大阪市交通局、大阪市21世紀協会等の機関誌に掲載された。

3 受入対策事業

天守閣周辺の広報板の充実

大阪城公園周辺4か所および天守閣改札の広報板に大型ポスターを掲示し、イ

ベント案内など周知に努めた。

4 観光振興事業

(1) 通年のイベント

戦国体感「兜、陣羽織の体験試着」を毎週土・日・祝に実施した。

(2) 春のイベント

ア テーマ展「南木コレクションシリーズ第11回 見立ての世界」

開催日 3月20日～5月5日

イ 大阪城春の陣（GW期間中）

今宮戎の福娘による福まきとほえかごの巡行や大道芸人によるパフォーマンスを繰り広げた。

(3) 夏のイベント

ア 「紙で作ろう鎧と兜」製作体験

子供たちの夏休みイベントとして、小学生らに紙で作る自分の体型にあった鎧と兜を保護者と一緒に製作し、各種イベントに参加してもらった。

開催日 7月24日～8月29日

イ 「水戸黄門展」

毎日放送系でテレビ放送1000回記念特別展
展示、記念撮影等を行った。

開催日 7月31日～8月31日

ウ 「オーサカキング」

毎日放送で「もっと大阪」をテーマに大阪城公園一体・天守閣広場等にて開催された。

開催日 7月31日～8月8日

(4) 秋のイベント

ア 特別展「大阪城の近代史」

幕末維新时期から天守閣復興頃までを対象として大阪城の様々な姿の紹介を行った。

開催日 10月9日～11月28日

イ 大阪城再発見クイズ

開催日 10月30日～11月14日

ウ 大阪城鉄砲隊の演武と行列

火縄銃の演武と大阪城こども甲冑隊や和歌山県九度山町の皆様と行列を行った。

開催日 11月7日

エ 郷土芸能

大阪城ゆかりの信州真田六文銭太鼓と信州上田真田陣太鼓の競演と九度山

開催日 11月6日～11月7日

(5) 天守閣特別委員会との共催事業

ア 新作刀展覧会

毎年新作刀展覧会で審査された現代の刀工達の優秀な作品を展示した。

開催日 6月26日～7月15日

イ 歴史シンポジウム

開催日 11月6日

5 関連団体との連携

(1) 全国城郭管理者協議会総会（福井県丸岡町）

開催日 6月24日・25日

(2) 全国城郭管理者協議会研修会（山口県岩国市）

開催日 11月18日・19日

会員交流

賛助会員に対して、情報誌やインターネットを通じて、イベントや会議開催情報などを定期的に提供した。

1 会報の発行

「OCT WAVE」を創刊し、10月と17年2月に発行した。

2 「会員の集い」の実施

賛助会員同士のネットワーク作りや当協会の活動に対する理解を深めていただくために、「会員の集い」を行った。

(1) 日時 平成16年7月9日、午後2時～4時半

(2) 場所 太閤園及び大阪市長公館

(3) 内容 対談と会員交流会

3 「大阪ツーリズム促進協議会」の設立

宿泊業界の賛助会員と当協会が、大阪への宿泊ビジターの増加、宿泊数の増加を図るための事業を検討し、又は実施する場として設立したものである。

平成15年度から設立準備委員会を何度か開催し、平成16年6月2日に設立した。また、協議会の活動を効果的に進めるために、5つの分科会を設置した。

さらに、宿泊業界の賛助会員に対し、韓国語会話と中国語会話の入門講座を開いた。